

## 太陽が関わるさまざまな暮らし

お日様はとても大事な存在。悪い

ことをすると「お天道様が見ている」と、よく自らを戒めたものでさえ、「なくてはならない存在」。太陽が照ってくれなければ、作物も育たないですものね。きっとだれるのだそうです。

それから、太陽光発電や太陽熱の利用など、太陽を利用したエコな動きも世界中で盛り上がっています。

昔から私たち日本人にとって、

私も太陽が大好き。毎朝、お日様に「おはようございます！」

つて挨拶するんですよ。ひと言で

「太陽」といって、日によっていろいろな姿を見せてくれます。夜の星空もすてきだけど、ときには昼間の空も見上げてみませんか？

### 太陽を、いただきまーす！

港町に行くと、よくお魚を開いて干している光景を目にはします。アジやさんまやイカなど、風にゆられてひらひらと泳ぐ干物は、まさに太陽の恵みをいっぱい受けて、見るからにおいしそう！

干物って、簡単に作ることもできるんですよ。私は新鮮なアジが手に入ると開いて自分で干物を作ります。分量なんて量らず、作り方は「テキトーリー」。適当なしょっぱさの塩水に開いたアジをつけて、天日干しするだけ。ざるなどに広げてもよいですが、私は魚などを干すためのネットを使っています。

お魚は生のままでもおいしいの

ですが、干物にするとまた違った

味わいが楽しめて、ビールのつまみにも最高！ また、大根などを薄切りにして、天日干し、干し野菜を作ったりもします。ちょっと厚めかな、と思った野菜も、数

日間太陽と風に当てているとくしゅつと小さく縮んで約3分の1ほどの量になります。陽だまりの味がする干し野菜は、甘いんですよ。出張時の野菜不足解消にも役立つてくれています。

太陽って本当に偉大！ 晴れの日が続いたら、ぜひ試してみてくださいね。

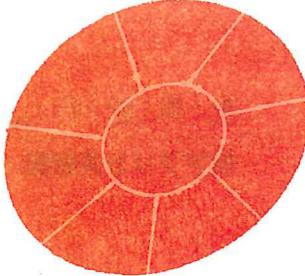
イラスト●福々ちえ



えだひろ じゅんこ●環境ジャーナリスト、翻訳家。東京大学大学院修士課程修了。(有)イーズ代表(<http://www.es-inc.jp/>)、(有)エンジ・エージェント会長、NGOジャパン・フォー・サステナビリティ(JFS)共同代表。東京大学人工物工学研究センター客員研究員、環境ビジネスウィメン懇談会メンバーなどを務めるほか、執筆、講演、翻訳などを通じて環境問題に取り組んでいる。著書に『地球のおおし方』『地球とわたしをゆるめる暮らし』、訳書に『不都合な真実』『私たちの選択』などがある。

## 暮らしを やさしくする エコな気持ち

枝廣淳子



## 太陽の恵みをいただく

